



坐骨神経痛に効く! AKA療法

あなたは腰痛がありますか？

腰痛があって、椎間板ヘルニアや、脊柱管狭窄症などと診断されると、薬物療法や理学療法を行い、症状が重い場合には手術をすすめられることもある——これが一般によく知られた治療法です。これに対し、最近関心を集めているAKA療法は、手技によって仙腸関節を中心とした関節の動きを改善させることで関節の機能の障害を解消します。

腰痛だけでなく、膝痛、肩こりなどにも効果があると注目されています。

AKA療法は仙腸関節や肋椎関節の動きを正常にして痛みをとる

腰痛は、人類が二足歩行を始めたときからの宿命、四十歳代以降の人には共通の悩みだといってもよいでしょう。必ずといってよいほど、身近に腰痛もちの人がいるはず。

ところで、整形外科で椎間板ヘルニアと診断され、痛みの原因として画像に映ったヘルニアを手術で除去しても、なお痛みが続いたり、あるいは画像診断では異常が見つかからないにもかかわらず痛みがあるとしたら、どうでしょう。どうして痛みが続くのか、疑問に感じませんか？

「こういう場合、痛みの真の原因は別のところにあります。MRI（磁気共鳴画像）やエックス線など画像診断が飛躍的に進歩した結果、それに頼りすぎてしまい、画像に



望クリニック院長
すみた かずよし
住田 憲是 氏

望クリニック整形外科
☎03-3986-7889

少しでも異常が見られたら、それを痛みの原因と決めつけてしまう傾向が強いのです。画像の変化によって椎間板ヘルニアとか坐骨神経痛といった病名をつけがちですが、はたしてそれが痛みの真の原因かどうかは、よくわかっていないのが実情です」と望クリニック院長の住田憲是氏はいきります。

住田氏によれば、「腰痛の九割は仙腸関節の機能異常や、炎症により、関節の内部の動きが正常にできなくなることが真の原因だ」といいます。この仙腸関節を中心とした、肋椎関節などの関節内部の動きの障害を改善し、腰痛、膝痛、肩こりなどやからだ各部位の痛み、しびれなどを治すのがAKA療法です。

